

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 190,000 千円 (前年度予算額：100,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	190,000	190,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・食品産業の輸出力強化を図るためには、HACCP 等の国際規格・認証の取得が極めて重要である。
- ・このため、国庫補助事業を活用し、県内の食品製造事業者等を対象に、HACCP 等に対応した施設整備を支援する。

(2) 事業内容

- ・加工食品等の輸出拡大に必要な製造・加工、流通等の施設の新設及び改修、機器の整備

[補助対象者] 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助 (1/2 以内又は 3/10 以内)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	190,000	事業実施予定：3事業者
合計	190,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（平成31年3月策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・新たなぎふ農業・農村基本計画（令和3年3月策定）
（3）ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

令和2年度から実施した農林水産省の補助事業である。
他県採択状況一覧の公表はない。

(3) 後年度の財政負担

全額国庫補助のため、財政負担はない。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 輸出先のニーズに対応した HACCP 等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の改修及び新設、機器の整備に対する支援により、県全体の輸出力の更なる強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						%
飛騨牛の年間輸出品量 (kg)	330 (H20)	45,127	59,750	67,800	100,000	% 45.1
鮎の年間輸出品量 (kg)	15 (H25)	761	4,600	5,650	10,000	% 7.6
富有柿の年間輸出品量 (t)	11 (H20)	21	68	76	100	% 21.0

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。 3 地区（飛騨ミート農業協同組合連合会、(株) 鈴木栄光堂、森白製菓(株)）で事業採択され、HACCP 等の基準を満たす施設改修、機器の整備を行い、輸出品量を増加させる体制を整えることができた。
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>今後、急速な人口減少社会を迎え、国内市場の縮小が見込まれる中、農林水産業の所得を確保するために、相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備は、必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の輸出货量は減ったものの、飛騨牛、鮎、富有柿の輸出货量は伸びてきており、県の輸出戦略に沿った事業実施の効果が現れている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>事業計画を策定し、採択基準に基づく採点のうえで採択事業者を決定するとともに、事業成果の評価等を行うため、実施の効率性は図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農産物の輸出では、各国が輸入規制や条件を設定しているため、食品製造事業者等の HACCP 等に対応した施設整備の推進が課題となっている。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備により、県全体の輸出力の更なる強化を目指す。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	